

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アスラボさばえ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	WISCや様々な検査結果をもとに個々の特性に応じた学習支援を行っている。	WISCの結果や事業所で行っている簡易検査結果等を分析し課題を確認。さらに学習への困り感が強いお子様については読み書きチェックやアセスメントを行い、お子様が取り組み易い方法と一緒に考え支援を行っている。 また、合理的配慮が必要だと思われる場合には、早い段階から配慮を受けることが出来るようご家族や学校へのアプローチを行っている。	発達特性に合わせた支援の知識を深め、多様化するニーズに応えられるよう職員の質の向上を図る。 合理的配慮に対する知識を深めると共に、学校や医療機関とのさらなる連携を図る。
2	自己理解を深め主体的に行動出来るように、子どもとの対話を重視している。	コーチングを用いながら自己理解を深め、自分に合った課題解決法を見つけられるように支援している。	今後も職員の質問力、コーチング力を高めるための研修参加や勉強会を開催していく。
3	将来を自立した生活をするうえで必要となる最低限の学習スキル習得を支援する。それぞれの特性に合ったICTツールを見つけ使いこなせるようになることで、将来生活しやすくなるように支援を行っている。	読むことや書く事に困難さがある場合、読み上げツールや音声入力等を使いこなすことで負荷が下がることを伝え、それらを使いこなせるように支援を行っている。また、スケジュール管理やその他生活スキル向上に使えるツールの情報を提供することで、自分に合った方法で活用出来るように支援を行い、将来自立した生活を行うための準備をしている。	広い知識を獲得するために情報収集を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	粗大運動等の体を使った運動療育を行えないこと。	建物の構造上、広いスペースを取ることが出来ず、運動療育を行うことは難しい。	限られたスペースでも体を使った運動が出来る活動を取り入れている。（土曜活動）
2			
3			